

シュッコンカスミソウの低温期定植における電照期間

‘アルタイル’、‘ビッグミスター’、‘雪ん子’の低温期定植の電照期間は、摘心直後から発蕾までが効果は高く、生育促進、採花日の前進化が図られる。

農業研究センター農産園芸研究所花き研究室 (担当者: 工藤陽史)

研究のねらい

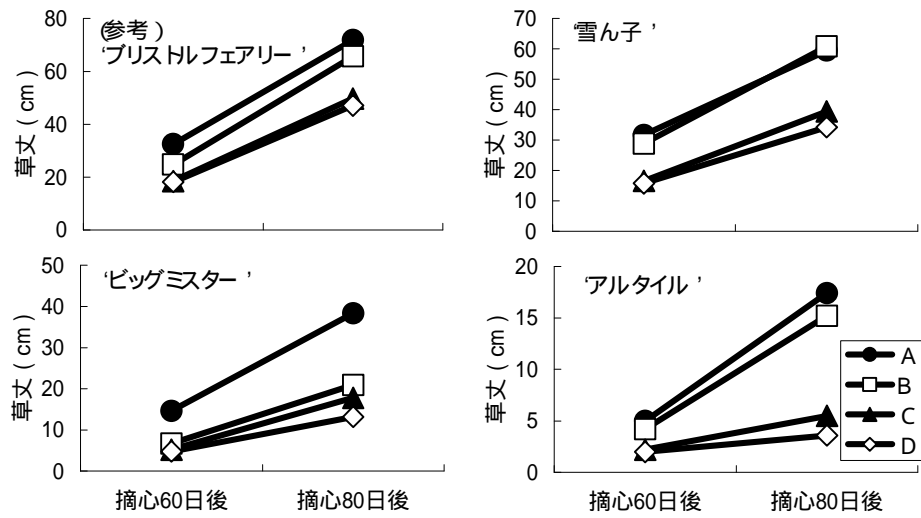
近年シュッコンカスミソウの品種は多様化し、従来とは特性の異なった品種が栽培されている。これらの品種は、低温期の定植でロゼット化する特性があるため、作今導入されている‘雪ん子’、‘アルタイル’、‘ビッグミスター’の電照開始時期と電照期間が生育および採花時期に及ぼす影響を明らかにする。

研究の成果

- 1 摘心直後からの電照開始で草丈の伸長促進効果が高い。なお、‘アルタイル’は、他品種に比べて生育速度は遅いが、電照効果は高い (図 1)。
- 2 電照を摘心直後から開始すると最も採花時期が早くなり、電照終了は発蕾時までで効果が高い (表 1)。

普及上の留意点

- 1 2005 年 12 月 22 日に基肥を N : P₂O₅ : K₂O=4.1 : 9.4 : 4.1(g/株)で 650 型プランターに各 2 株を定植、翌 1 月 5 日に 7 節目で摘心、側枝 15cm 程度伸長時に 3 本に仕立て、8 加温のガラス温室で栽培した結果である。
- 2 電照は、白熱電球を用いて 22 時から 2 時までの深夜 4 時間の暗期中断で行った。
- 3 ‘アルタイル’の電照効果は高いが、他品種に比べて採花時期が遅い。



電照開始時期 A 摘心直後 B 摘心20日後 C 摘心50日後 D 無電照

図 1 電照開始時期が草丈の伸長に及ぼす影響

表 1 電照期間が採花時期に及ぼす影響

電照期間		品種名			
開始時期	～ 終了時期	(参考) 'プリストルフェアリー'	'雪ん子'	'ビッグミスター'	'アルタイル'
摘心直後	～ 栽培終了時	4月19日 ²	5月2日	4月26日	5月11日
摘心直後	～ 発蕾時	4月19日	5月2日	4月26日	5月10日
摘心20日後	～ 栽培終了時	4月24日	5月2日	5月3日	5月13日
摘心50日後	～ 栽培終了時	4月27日	5月8日	5月6日	5月22日
電照処理なし		4月27日	5月11日	5月6日	5月28日

²平均採花日